

# KENWOOD

カセットレシーバー

## RX-290

### 取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。  
また、この取扱説明書は大切に保管してください。  
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド  
KENWOOD CORPORATION

Source Selection/Clock Control

Audio Control

Tape Mode

Tuner Mode

● 使いこなし!

ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

● ここさえ読めばひとまずOK!

イージーオペレーション

EZ Operation

Functional Operation

EZ Operation

Help

Help

# Contents

ここを読まなければ操作できない！  
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

## 本書の読みかた

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
使用上のご注意	8

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

## EZ Operation

Tape,FM/AM放送,交通情報の聴きかた	10
------------------------	----

思ったとおりに動作しなかったとき  
わからない用語が出てきたら…  
困ったときのお助けページ！

## Help ?

Help?	20
-------	----

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

## Functional Operation

Source Selection/Clock Control	12
ソース選択	
時計表示	
時刻合わせ	
Audio Control	14
オーディオコントロール	
交通情報音量設定	
ラウドネスコントロール	
Tape Mode	16
早送り/巻戻し	
プログラム	
チューナーコール	
Tuner Mode	18
バンド切り替え	
チューニング	
オートメモリー	
マニュアルメモリー	
プリセットチューニング	

付録

## Appendices

取り付け時のご注意	22
接続	24
取り付け	25
ヒューズの交換	25
保証とアフターサービス	26
仕様一覧	27

Source Selection/Clock Control

Audio Control

Tape Mode

Tuner Mode

# 本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の3つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!  
イージーオペレーション

**EZ** Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。

ここだけ読めば、とりえずお使いいただけます。

使いこなし! ファンクショナルオペレーション

**Functional** Operation

EZ Operationを習得したらここへ。

すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

**Help**

思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。

これらのほかに、本機の取り付け方法などを説明した [Appendices] があります。

- 取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

## 本文でのマークについて



### 共通の操作

ソースにかかわらず共通の操作を表しています。



### テープの操作

テープをプレイする操作を表しています。



### チューナーの操作

FM/AM放送を受信する操作を表しています。



### 注意

ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。



### メモ

本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

### 短かく押す

ボタンをチョンと押すことを表します。



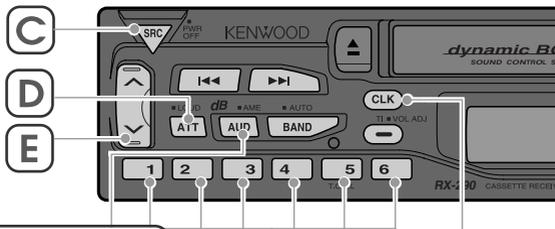
### 1秒以上押す

1秒以上（メモリーに書き込むときは2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。

通常、1秒間押します。また、メモリーに書き込むときには2秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。



この辺ボタンABC…  
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

### ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



FM/AM放送を受信



TAPEをプレイ



電源をオンのままで機能を停止

ディスプレイ表示  
スクロール  
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

内容の説明

表示される文字

### 時刻合わせ

時刻を合わせます。

#### 1 時計を表示します

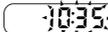


時計表示時中は インジケーターが点灯します。



パワーオフ中は時計表示はされません。

#### 2 時刻合わせを開始します



ディスプレイ表示  
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

Source Selection/Clock Control

Audio Control

Tape Mode

Tuner Mode

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」  
をご使用前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



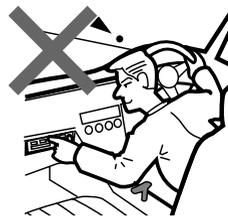
実施

Ⓛ記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

## 警告



実施

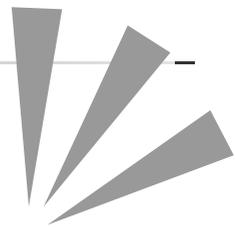
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、カセットの挿入・取り出し など）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



## ! 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



### 禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、ケンウッドサービスステーション、営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。



### 禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



### 禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



### 禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



### 禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



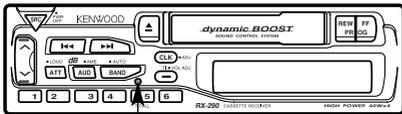
### 実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。

# 使用上のご注意

## セットの異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まずHelp(p.20)を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



リセットボタン

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、カセットテープが取り出せないような場合は、本機の電源をオフにして、販売店へ相談してください。

## セットのお手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスが柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## 取り付け時の注意

直射日光のあたる場所、熱風のあたる場所、水のかかる場所、しっかりした取り付けができない場所、振動の多い場所には設置しないでください。

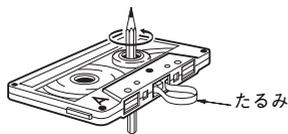
## オートアンテナ車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり、チューナーコールや交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

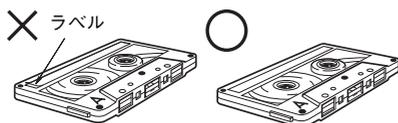
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

## カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがあるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



変形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルのはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

エンドステープは使用しないでください。

## ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性粉やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店などで市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。





テープの操作



チューナーの操作



共通の操作



**カセットテープを取り出します。**



**カセットテープをプレイするときは…**  
プレイするカセットテープを差し込みます。



**巻戻します。**



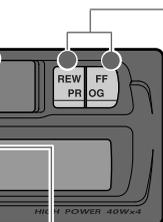
**早送りします。**



**再生方向を切り替えます。**  
同時に押すと、再生方向（A面とB面）が切り替わります。



**放送バンド（FM I / FM II / FM III / AM）を切り替えます。**



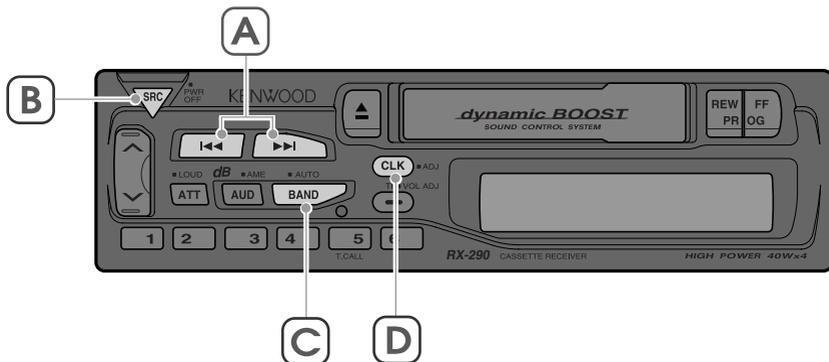
Source Selection/Clock Control

Audio Control

Tape Mode

Tuner Mode

# Source Selection / Clock Control



## ソース選択

プレイするソースを切り替えます。



押すたびに次の順で切り替わります。



## 時計表示

時計を表示します。



押すたびに、現在のモード表示と時計表示が切り替わります。時計表示時中は●インジケータが点灯します。

● パワーオフ中は時計表示できません。

プレイするソースを選びます。  
また、時刻を表示します。

## 時刻合わせ

時刻を合わせます。

### 1 時計を表示します



時計表示時中は インジケーターが点灯します。

### 2 時刻合わせを開始します



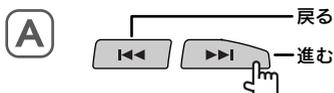
時計表示が点滅するまで押し続けます。

### 3 “時” を合わせます



押すたびに“時”が進みます。

### 4 “分” を合わせます

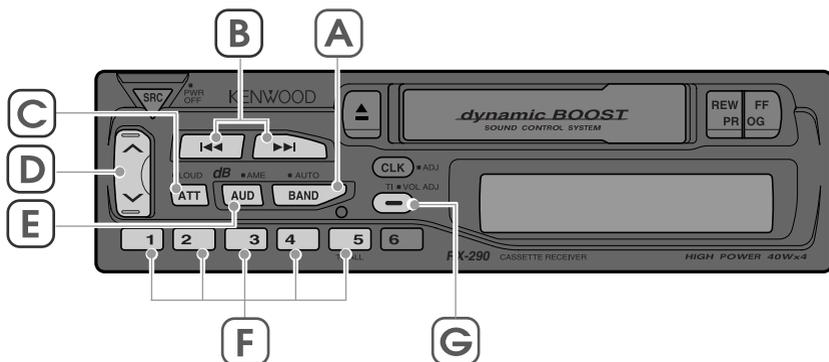


### 5 時刻合わせを終了します



分を調整したときは、“00”秒からカウントがスタートします

# Audio Control



## オーディオコントロール

音量バランスなどを設定します。

### 1 オーディオコントロールモードにします

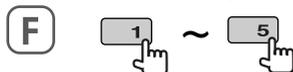


### 2 設定する項目を選択します



### 3 値を選択します

dB (ダイナミックブースト) の設定



BAS / TRE / BL / FD の設定



設定できる項目と値は次のとおりです。

設定項目	設定値
dB (ダイナミックブースト)	<b>1</b> dB-1(フラット)
	<b>2</b> dB-2(ロック)
	<b>3</b> dB-3(ポップス)
	<b>4</b> dB-4(ジャズ)
	<b>5</b> dB-5(イージー)
BAS [バス] (低音の音量レベル)	-8 ~ 0 ~ 8
TRE [トレブル] (高音の音量レベル)	-8 ~ 0 ~ 8
BL [バランス] (左右の音量レベル)	L[左]15 ~ 0 ~ R[右]15
FD [フェーダー] (前後の音量レベル)	R[後]15 ~ 0 ~ F[前]15

(太字は初期設定値)

- dB (ダイナミックブースト) は、あらかじめジャンル別にメモリーされている音質です。
- dB / TRE / BAS は、FM放送、AM放送およびテープモードごとに設定できます。

### 4 オーディオコントロールを終了します



音量などを調整します。

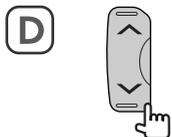
## 交通情報音量設定

交通情報受信時の音量をメモリーします。

### 1 交通情報モードにします



### 2 設定したい音量にします



### 3 音量をメモリーします



音量表示が1回点減するまで押し続けます。次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

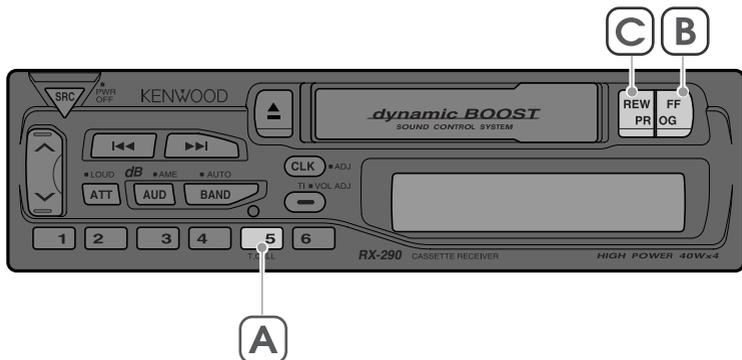
## ラウドネスコントロール

高域音と低域音を強調してメリハリのある音質にします。



1秒以上押すたびに、ラウドネスコントロールがオン/オフされます。ラウドネスコントロールがオン時は **LOUD** インジケーターが点灯します。

# Tape Mode

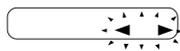


## ● 早送り／巻戻し

テープを早送り／巻戻しします。

早送り

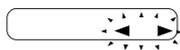
**B**



通常のプレイに戻すには **REW/PR** を押します。

巻戻し

**C**

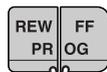


通常のプレイに戻すには **FF/OG** を押します。

## ● プログラム

テープの再生方向（A面とB面）を切り替えます。

**B**



**C**



同時に押すたびに、テープの再生方向が切り替わります。

カセットテープの再生面を切り替えたり、早送り・巻戻しします。

基本的なカセットの聴きかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

## チューナーコール

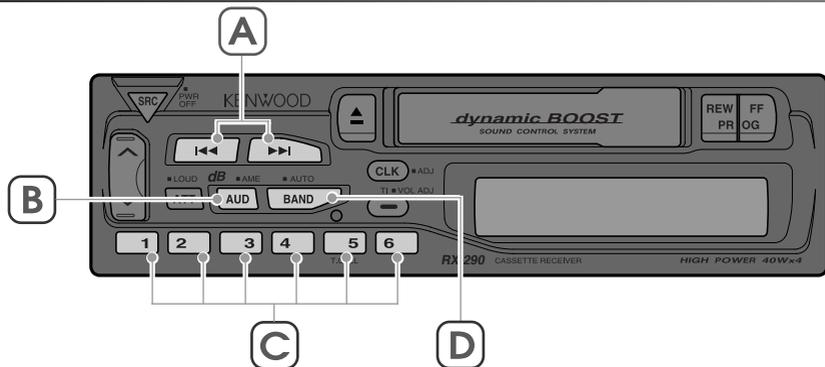
早送りや巻戻し中にラジオを聴きます。



押すたびに、チューナーコールがオン／オフされます。チューナーコールがオン時は **FM CALL** インジケーターが点灯します。

- チューナーコールがオンのとき、オートアンテナ仕様車は、アンテナが伸びた状態になります。車庫入れなどでアンテナを縮めたいときはチューナーコールをオフにしてください。

# Tuner Mode



## バンド切り替え

FM/AMを選びます。



押すたびに次の順で切り替わります。



## チューニング

受信する放送局を選びます。

### 1 バンドを選びます



### 2 チューニングモードを選びます



1秒以上押すたびに、チューニングモードがオートとマニュアルに切り替わります。オート時は **AUTO** インジケーターが点灯します。

### 3 放送局を選びます



チューニングモードがオートのとき  
(**AUTO**インジケーターが点灯しています)  
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。途中で解除するときは、**MEM** または **PRE** を押します。

チューニングモードがマニュアルのとき  
押すたびに、周波数が1ステップずつ変わります。

FMステレオ放送を受信すると **STEREO** インジケーターが点灯します。

## オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

### 1 バンドを選びます



### 2 オートメモリーします



周波数表示が次々に変わるまで押し続けます。

6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

FM/AM放送を受信します。  
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（10ページ）をご覧ください。

## マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

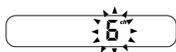
### 1 バンドを選びます



### 2 放送局を選びます



### 3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

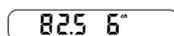
## プリセットチューニング

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

### 1 バンドを選びます



### 2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

## 電源がオンにならない

- ヒューズが切れている。
- 入出力ケーブル、電源コードなどの接続が間違っている。

- コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
- 「接続」(24ページ)を見て正しく接続しなおしてください。

## 音が出ない/音が小さい

フェダー、バランスが片方に寄っている。

フェダーやバランスを正しく調整してください。(14ページ)

## 音質が悪い(音がひずむ)

- 音量が大きすぎる。
- スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。
- スピーカーの配線が間違っている。
- ヘッドが汚れている。

- 音量を適正に調整してください。
- スピーカーの配線を確認してください。
- スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。
- 「ヘッドクリーニングについて」(9ページ)を見て正しくヘッドクリーニングを行ってください。

## チューナーの感度が悪い

- 自動車のアンテナが伸びていない。
- アンテナコントロール電源が接続されていない。
- アンテナ入力がきちんと接続されていない。

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- 「接続」(24ページ)を見て正しく接続してください。
- アンテナ入力を確実に接続してください。

## ラウドネスコントロールをオンにしても高音が強調されない

ラジオを聴いている。

チューナーモードでは低音のみが強調されます。

## カセットテープが入らない

- すでにカセットテープが入っている。
- カセットテープが変形している。
- 逆向きに入れようとした。
- 本機がすでに再生状態になっている。

- 入っているカセットテープを取り出してください。
- 他のカセットテープを使用してください。
- テープが見える面を右にして入れてください。
- ▲イジェクトボタンを押してから、カセットテープを入れなおしてください。

## SRCボタンを押しても、テープモードに切り替わらない

カセットテープが入っていない。

カセットテープを入れてください。

## カセットテープが演奏されない

- カセットテープが正しくセットされていない。
- カセットテープの不良。

- ▲イジェクトボタンを押して、再度カセットテープを入れなおしてください。
- 他のカセットテープを使用してください。

## テープモードにすると、自動車のアンテナが伸びる

チューナーコールがオンになっている。

チューナーコールをオフにしてください。(17ページ)

# 取り付け時のご注意

## 警告



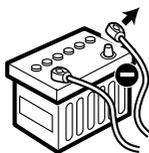
禁止



大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



実施



配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施



本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止



コードの被覆を切って、他の機器の電源を取るとは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にしないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



**禁止**



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。

コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。

また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



**注意**



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



**実施**



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



**実施**



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



**実施**

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



**注意**

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



**実施**

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

# 接続

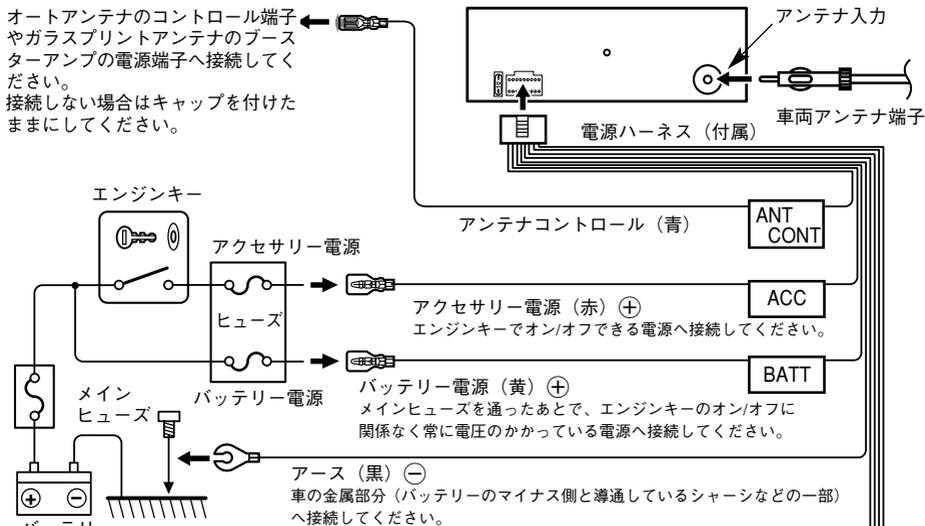


最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

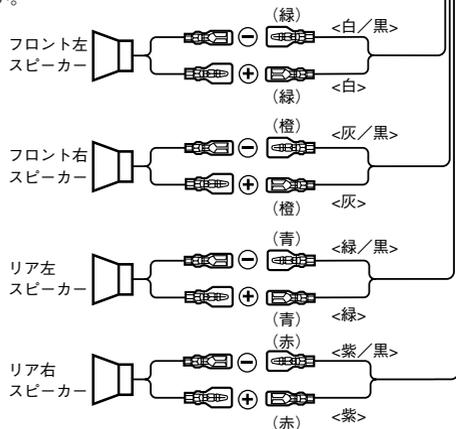
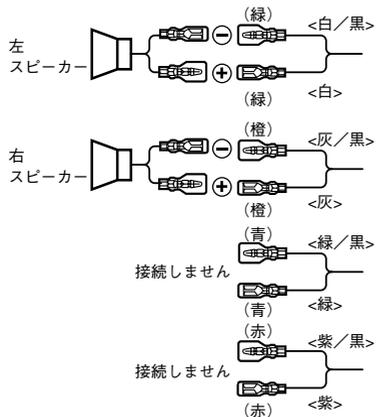
実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリ電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 本機のリセットボタンを押します。

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



## 2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

# 取り付け

付属のトラスネジ (M5 × 6mm) またはサラネジ (M5 × 7mm) 4本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。



**取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

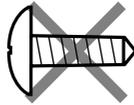
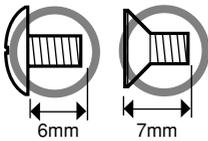
**実施**

また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

付属取付ネジ

その他のネジ

**付属ネジ一覧**



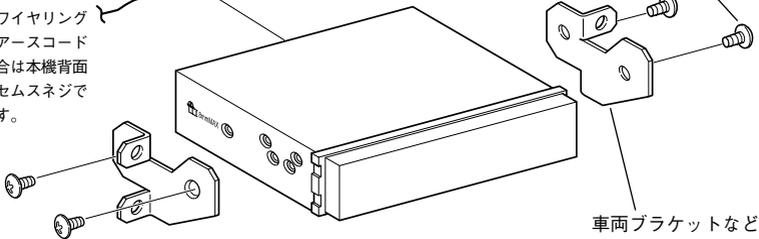
	トラスネジ (M5 × 6mm) .....	4
	サラネジ (M5 × 7mm) .....	4
	セムスネジ (M4 × 8mm) .....	1

セムスネジ  
(M4 × 8mm) (付属)

トラスネジ  
(M5 × 6mm) (付属)  
または  
サラネジ  
(M5 × 7mm) (付属)



別売品のワイヤリング  
キットにアースコード  
がある場合は本機背面  
に付属のセムスネジで  
固定します。



車両ブラケットなど



別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。  
キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカタログをご覧ください。

# ヒューズの交換

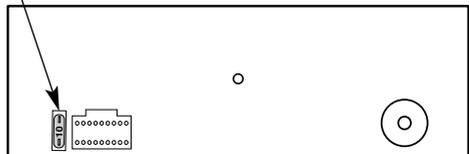
セット背面

ヒューズ (10A)



**注意**

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量 (アンペア数) と同じ新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。



# 保証とアフターサービス

## 保証について

### ●保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### ●保証期間

お買い上げの日より**1年**です。

## 修理を依頼されるときは

「Help ? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

**修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。**

### ●保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

### ●保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

### ●持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機および一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

### ●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。  
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。  
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

# 仕様一覧

## FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	76.0 MHz~90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N:30 dB)	9.3 dBf (0.8 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~15 kHz
S/N比	70 dB (MONO)
選択度 ( $\pm$ 400 kHz)	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

## AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)	522 kHz~1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N:20 dB)	28 dB $\mu$ (25 $\mu$ V)

## カセットテーププレーヤー部

テープスピード	4.76 cm / 秒
ワウ & フラッター	0.12 % (WRMS)
周波数特性 ( $\pm$ 3.0 dB)	30 Hz~14 kHz (120 $\mu$ s)
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)
S/N比	52 dB

## オーディオ部

最大出力	40 W $\times$ 4
定格出力	26 W $\times$ 4 (4 $\Omega$ , 1kHz、10%THD)
トーン・コントロール (低音)	100Hz $\pm$ 10dB
(高音)	10kHz $\pm$ 10dB

## 電源部

電源電圧	14.4 V (11~16 V)
最大消費電流	10.0 A

## 寸法・質量

埋込寸法 (W $\times$ H $\times$ D)	178 $\times$ 50 $\times$ 158 mm
質量 (重さ)	1.1 kg

## 付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ (M5 $\times$ 6mm)	4本
サラネジ (M5 $\times$ 7mm)	4本
セムスネジ (M4 $\times$ 8mm)	1本

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。  
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-2801 FAX(03)3477-5334 〒153-0042東京都目黒区青葉台3-17-9  
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒532-0034大阪市淀川区野中北2-1-22  
受付時間 9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。